

討論

提出された議案等の審議の最終段階で、議案等に対して反対、賛成の意見を述べること「討論」といいます。今定例会の最終日に、次の議案や請願に対して討論が行われ、その要旨は次のとおりです。

【議案についての討論】

重度心身障害者福祉金支給条例の一部を改正する条例

賛成 平成会
遠藤英樹 議員

今般の改正は、現在の福祉金支給対象者である身体障害者・知的障害者に、精神障害者と難病患者を加え、充実を図るもので、市民の声に真摯に耳を傾けた結果であると思われるものです。

福祉金受給者に所得制限を導入することは、この制度を継続していくことからやむを得ないことであり、その基準を住民税の課税・非課税に求めたことは一定の合理性があり、過度な負担を求めるとはならず、適切な配慮がなされているものと考えるところであり、賛成するものです。

平成18年度 一般会計予算

賛成 平成会
細井幸雄 議員

本予算案は「市政の経営改革推進」、「安全・安心で住みよいまちづくり」、「地域協働の推進」の基本方針をもとに、市民生活に関わる事業の積極的な展開が意図されたものとなっており、高く評価します。

①勤務評定制度の導入は、適正な勤務成績評価と人材育成の観点から、必要なことであると理解します。

戸田競艇組合議会

賛成 日本共産党
花井伸子 議員

本市の豊かな財政力を生かし、県の制度縮小を補って、障害者の暮らしと福祉を守る努力を強く求めて反対するものです。

②中学校A.L.Tの業務委託については、事業の効果を高め、教育の質の向上に寄与するものであり、さらに経費の削減がなされるのであれば、これに反対する理由は採り得ないところです。

戸田競艇組合議会

賛成 日本共産党
望月久晴 議員

昨年行われた介護保険法の改正は、介護保険の不十分さを補うものでなく、「介護の社会化」をさらに後退する内容となっております。本市の総合介護福祉条例の一部を改正する条例は、介護保険の改善を受けたものであります。介護保険料の大幅な値上げは、高齢者の生活をますます圧迫するものであり、こうした大幅な値上げは避けるべきではないでしょうか。

高齢者入院患者見舞金支給事業の廃止について、年間わずか60万円の財源で実施してきた事業を、高齢者への増税で大幅な増取となる時に廃止する正当性はないと考えます。以上の理由から反対するものです。

戸田競艇組合議会

賛成 日本共産党
岡寄郁子 議員

国の責任による最低保障年金制度の創設は、高齢者の生活保障と年金制度の問題を解決する抜本的な改革であり、全国でも1136の自治体が国に意見書を出しているものです。

本請願の趣旨は、最低保障年金制度の創設を国の責任として行うよう、市議会から意見を上げ、国に賛成とすることを求めています。

戸田競艇組合議会

賛成 日本共産党
岡寄郁子 議員

国においては、さらなる総合的な少子化対策として、次のような施策を講じるよう、強く求めるものである。

1. 抜本的な児童手当の拡充
2. 出産費用等の負担の軽減
3. 子育て世帯向けの住宅支援
4. 子供を預けやすい保育システムへの転換
5. 放課後児童健全育成事業等の充実
6. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図れる働き方の見直し
7. 特に私立高校・大学の学費の負担軽減
8. 小児医療のさらなる充実

戸田競艇組合議会

賛成 日本共産党
岡寄郁子 議員

本請願の趣旨は、最低保障年金制度の創設を国の責任として行うよう、市議会から意見を上げ、国に賛成とすることを求めています。

本請願の趣旨は、最低保障年金制度の創設を国の責任として行うよう、市議会から意見を上げ、国に賛成とすることを求めています。

☆議長 秋元 良夫 ☆副議長 熊木 照明 ☆監査委員 中名生 隆

名	称	委員名 (◎=委員長 ○=副委員長)						
		◎伊東 浩樹	◎榎本 守明	◎鈴木 麗子	◎花井 伸子	◎細井 幸雄	◎手塚 静枝	◎石井 民雄
常任委員会	総務	◎伊東 浩樹	◎榎本 守明	◎鈴木 麗子	◎花井 伸子 <td>◎細井 幸雄</td> <td>◎手塚 静枝</td> <td>◎石井 民雄</td>	◎細井 幸雄	◎手塚 静枝	◎石井 民雄
	文教・建設	◎手塚 静枝	◎馬場 栄一郎	◎平野 進	◎浅井 隆夫	◎本田 哲	◎望月 久晴	◎熊木 照明
	健康福祉	◎斎藤 直子	◎召田 厚	◎三浦 芳一	◎遠藤 英樹	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆
	市民生活	◎中島 浩一	◎岡寄 郁子	◎菅原 文仁	◎中名生 隆	◎熊木 照明	◎中名生 隆	◎熊木 照明
特別委員会	こどもの国再整備等に係る複合施設	◎高橋 秀樹	◎斎藤 直子	◎遠藤 英樹	◎遠藤 英樹	◎岡寄 郁子	◎手塚 静枝	◎石井 民雄
	指定管理者制度	◎奥田 実	◎伊東 浩樹	◎鈴木 麗子	◎菅原 文仁	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆
	交通環境対策	◎石井 民雄	◎熊木 照明	◎三浦 芳一	◎馬場 栄一郎	◎中名生 隆	◎熊木 照明	◎中名生 隆
	議会改革	◎神谷 雄三	◎伊東 浩樹	◎中島 浩一	◎遠藤 英樹	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆
戸田競艇組合議会		◎三浦 芳一	◎菅原 文仁	◎中島 浩一	◎遠藤 英樹	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆
		◎花井 伸子	◎斎藤 直子	◎細井 幸雄	◎菅原 文仁	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆
戸田競艇組合議会		◎鈴木 麗子	◎遠藤 英樹	◎榎本 守明	◎馬場 栄一郎	◎中名生 隆	◎熊木 照明	◎中名生 隆
		◎平野 進	◎熊木 照明	◎望月 久晴	◎熊木 照明	◎中名生 隆	◎熊木 照明	◎中名生 隆

議会の役職が改選になりました

意見書を提出

今定例会では、議員提出議案として2件の意見書が提出され、可決されましたので、その要旨を掲載します。なお、2件の意見書は関係機関に送付しました。

抜本的な都市農業振興策の確立を求める意見書

都市農業者が安心して営農に取り組めるよう、国が、次に掲げる抜本的な都市農地保全・農業振興に取り組み、強く要望する。

1. 都市計画法、生産緑地法、相続税納税猶予制度などの都市農業関連の法制・税制などを見直し、新法制定も視野に入れた抜本的な都市農業施策を確立すること。
2. 都市農業関連税制の見直しに際しては、市街化区域内に農地を持つ農家が、希望を持って持続的に農業を営むことのできる仕組みに再構築すること。
3. 農業構造改革の一環として集落営農・法人化が推進されていると

総合的な少子化対策を求める意見書

国においては、さらなる総合的な少子化対策として、次のような施策を講じるよう、強く求めるものである。

1. 抜本的な児童手当の拡充
2. 出産費用等の負担の軽減
3. 子育て世帯向けの住宅支援
4. 子供を預けやすい保育システムへの転換
5. 放課後児童健全育成事業等の充実
6. 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図れる働き方の見直し
7. 特に私立高校・大学の学費の負担軽減
8. 小児医療のさらなる充実

